入選

自分の意志で生きること

第五学年
K・S

わたしにとっての平等は、自分も他人も同じ条件で生きていくことだと考えます。

例えば、今おきている戦争では、食べ物でこまっている人や、家がない人、けんかなどのぼう力など、人と人に差をつけるのも不平等だと思います。

逆に給食のはいぜん中、おなかがいたくていっぱい食べられない人など、給食の量に差ができることは、不平等ではないと私は考えます。理由は、自分の意志でそうしているし、食べられなくて、残すのもよくないと考えたからです。

このように私は、人と人に差をつけるのは不平等で、自分の意志でそうしている人は、不平等ではないと考えます。それでも不平等ではあまりよくありません。だから私は、自分にできることで人と人の差がでないように、けんかをしていじめられている人がでたら、

20 × 20

その中に入ってとめたり、一人で悲しそうにしている人がいたら、助けてあげたり、今自分にできることをしたいです。

20 × 20